

STANDARD PLUS APPLICATIONS

A CALLERLAB Supplemental Document
Showing the Most Standard
Formations and Arrangements for Each
of the Plus Calls



スタンダード[®] プラス アプリケーションズ[™]

コレオグラフィック アプリケーション委員会作成

2006年10月09日改定



一般社団法人 日本スクエアダンス協会

改定履歴

日付	変更点
1992年	原典を出版。
1995年	改訂第一版。
1997年	改訂第二版。
2001年	1997年版に次のような修正を行った。 1) Eight Chain Thru を追加。
2005年	1) Eight Chain Thru を削除し、Mainstream へ戻した。 2) CALLERLAB 隊形図(Formation Sheet)のうち、8人のダンサーに対する名前の付け方に、いくつか議論の余地が残されている。 3) 現在の動作の使い方を反映するように修正した。
2006/10/09	Spin Chain Thru を Basic and Mainstream Standard Applications に移動した。

原典は International Association of Square Dance Callers(CALLERLAB)の Choreographic Applications Committee で作成された資料の 2008 年版の翻訳である。下の英文の著作権表示にもあるように、この翻訳も著作権が CALLERLAB にあることを明示すれば、コピーの作成、配布について何ら制限されていない。また、日本語への翻訳許可は、2012年6月15日付けで CALLERLAB より得ている。

2013年6月 技術委員会スクエアダンス小委員会委員 金子裕行 (堺・光明池 SDC)

Standard Applications Books

© 1991 - 2006 CALLERLAB, Inc. Topeka, KS. The International Association of Square Dance Callers. Permission to reprint, republish, and create derivative works without royalty is hereby granted provided this notice appears. Publication on the Internet of derivative works without royalty is hereby granted, provided this notice appears. Permission to quote parts or this entire document without royalty is hereby granted, provided this notice is included. Information contained herein shall not be changed nor revised in any derivation or publication.

■序文

モダンスクエアダンスの世界では、ダンサーとコーラーに対して、スクエアダンスとコールを知らない人に対して、伝えてゆくことを奨励し、できるようになることを期待致します。これは、ダンサーが与えられたプログラム(例えば MS 等)の中で、相応なレベルの能力を確実にする為に、適当なトレーニング(講習、踊りこみ)を受ける必要があることを意味します。コーラーは、適したプログラムリストを、定義に一致して、タイミング、スムーズなボディフロー、明瞭な発声に注意を払いながら取り組むことを知っていなければなりません。さらに付け加えるならば、コーラーは、知らないダンサーの能力レベルについても、引き受けなければなりません。(訳者注：初めてコールするダンサーのレベルを把握してコールすること。)

この本の目的は、コーラーが、ダンスを成功させるためのスタート位置にある時に、多くの可能性の中から、重要なスキルとしてみなし、選択することのできる、経験ある知識の文書として蓄積してゆくことです。これらを選択することによって、コーラーは平均的なダンサーの知識について、現実的な期待のレベルへと発展させなければなりません。現実的には、多くの教える人は、細部を教える難解さには妥協を必要とし、それを教える時間も制限されています。時間がオーバーし、足りない、というのは妥協が発展したものとみなすことができます。

スタンダード対エクステンッドアプリケーションの考え方は、モダンスクエアダンスのコレオグラフィーの側面として、学んでゆく上での手助けとなるよう、発達したものです。

私達(CAC)の意図は、成功しそうなコールのコレオグラフィーと、混乱しそうなコールのコレオグラフィーを見分けるための、コーラーの手助けとなることです。

ゴールの達成は、コーラーがあらかじめ、ダンサーが最も気持ちよいと思われる、一定のフォーメーションや、男性－女性の配列を知っていることが必須です。一つのコールが、他のフォーメーションや配列からも踊られるようになって以来、コーラーは、これら気持ちよいと思われるフォーメーションや配列を知り、コールに使わなくてはならなくなりました。

この文書では、これらのアプリケーションを『スタンダード』と呼びます。

このリストされたコールのアプリケーションは、コーラーが100%のダンサーが成功することを合理的に期待できるものです。文書の中のコメントを確認することは、いくつかの手がかり、きっかけとして欠くことのできないものです。エクステンデッドアプリケーションと見なされるバリエーションは、記載されておりません。

標準的な、または『安全』なアプリケーションのコールだけを聞いている頃は、これらは、コーラーが教えるたった一つのバリエーションである、または、エクステンデッドアプリケーションのコールは行うはずが無いということが、暗に解釈されていました。いくつかのエクステンデッドアプリケーションが使われるようになって来たら、モダンスクエアダンスでは、独創力(創造性)やバラエティー(多様性、変化に富むこと)が、重要な要素であることが明らかにふさわしい、となくなりました。

でも、時には、ここにリストされている、いくつかより少ない、よくあるアプリケーションを使うことで、豊富な多様性を、ダンサーに与えられました。また、別の時には、スタンダードなコレオグラフィーの連続が、スムーズに踊り、成功するには重要とされました。

成功したコーラーは、間違いなくそのやり方を学び、利用していました。これは、現在のコーラーの勉強方法として重要なことを意味しています、おわかりでしょう？難しいコレオグラフィーを抑制することができるのです。難しいコレオグラフィーを取得した時は、スクエアを壊す可能性のある理由として、また、成功の為に必要な調整を用意することを、知らねばなりません。

適したトレーニング(講習、踊り込み)に加えるに、ダンサーが、コールと共に成功するのは、通例、二つの要素によって決まります。

1. 経験

ダンサーは、もし、コールが特定のフォーメーションとアレンジメントを使って行なわれたら、十分な以前からのダンスの経験をもって、成功することができるでしょう。ほっとしたり自信をもつことは、繰り返すことで動きが上達して、生まれるのです。そのフォーメーションとアレンジメントは、もっともしばしば、コーラーが使いがちなものかも知れません。その結果、それは『スタンダード』として明らかになるのです。

2. いつもの感じ

ダンサーは、もし、いつもの感じで動けていたら、結果が新しい状況となっても成功できるでしょう。それは、時として、スタンダードなフォーメーション、アレンジメントからのコールが与えられると確信して踊るからできるのです、もし、事實は通常のアプリケーションのコールでなくても、ダンサーは踊れるのです、それでもやはり、成功したコールのダンスとして数えられる(ダンサーは踊れた！と思う)のです。

次に来る表は(本文の表)、リストされているコールの特有のフォーメーション/アレンジメントについて、一致した一より明らかな基準を一明らかにしています、多くの経験あるコーラーによって、今回、『スタンダード』が検討されました。

この情報は、初めてコールするダンサーに対して、ダンス適正がありそうかどうかの判断をする必要があるコーラーへ、また、モダンスクエアダンスの広い世界に入る入り口にいる学ぶ人への、教える用意をする時に、スタンダードアプリケーションを強調する必要がある、と決心したコーラーへの参考として、両方に使うことができます。

この文書は、最新の状態のプラスプログラムにおいて、通常に見直され反映されます。

詳細は、改訂の履歴を参照してください。

目 次

Acey Deucey -----	1
All Eight Spin the Top -----	1
(Anything) and Roll -----	1
(Anything) and Spread -----	1
Chase Right -----	1
Coordinate -----	1
Crossfire -----	1
Cut the Diamond -----	1
Diamond Circulate -----	1
Dixie Grand -----	1
Explode the Wave -----	2
Explode and (Anything) -----	2
Extend -----	2
Fan the Top -----	2
Flip the Diamond -----	2
Follow Your Neighbor -----	2
Grand Swing Thru -----	2
Linear Cycle -----	2
Load the Boat -----	2
Peel Off -----	3
Peel the Top -----	3
Ping Pong Circulate -----	3
Relay the Deucey -----	3
Single Circle to a Wave -----	3
Spin Chain and Exchange the Gears -----	3
Spin Chain the Gears -----	3
Teacup Chain -----	3
3/4 Tag the Line -----	3
Track Two -----	3
Trade the Wave -----	3

■ STANDARD PLUS APPLICATIONS

CALL	FORMATION(S)	ARRANGEMENT(S)	COMMENTS
Acey Deucey	Parallel Waves or Parallel Two-Faced Lines (Right or Left Handed)	All Arrangement	最も重要な動き方は、パラレル ライトハンドウェイブと ツーフェイスド ラインからである。
All Eight Spin the Top	Right and Left Grand Circle	Boys facing CCW and Girls facing CW	男性がCW、女性がCCWを向いた、ライト アンド レフト グランドサークルでも、同様に成功しやすい。しばしば、2回(twice) コールされる。
	Wrong Way Thar	Ceter 4 all the same sex	
(Anything) and Roll	Various formations and arrangements depending on the (Anything) call	もし、(Anything) and Roll が、指示されたペアがお互いに異なる方向に、回転が終った時に、向かい合うようになるコールがされるなら、成功が近く保証されている。 (訳者注：Roll の後に向かい合って終ることが成功に近い。) さらに、Roll to Face と言えば助けになる。 例：Star Thru and Roll , Slide Thru and Roll , California Twirl and Roll , Partner Trade and Roll. どっちの壁を向いたら良いか、とまどいを招くこととして、Anythingのコールに、1/4や1/2のターンが含まれていて、お互いダンサーが同じ方向に動いている時に起こる。これらの動きで最も良い使い方は、ゲットアウトの前や、Lines Go Up and Backとコールするときである。 例：Touch 1/4 and Roll , Single Hinge and Roll ,そして、(from a mini-wave) Trade and Roll	
(Anything) and Spread	Various formations and arrangements depending on the (Anything) call	最も重要な、Spread が含まれる使い方： From a Static Square : Heads Star Thru and Spread From "0" (Normal Couples) Two-Faced Lines : Ferris Wheel and Spread From Lines Facing Out : Wheel and Deal and Spread From "1" (Boys facing in) Paraallel Right-Hand Waves : Follow Your Neighbor and Spread	
Chase Right	Lines Facing Out	"0" (Normal Couples)	スムーズなボディフローを注意深く考えて、セットアップする。Walk and Dodge , Chase Right は、ナイスコンビネーションである。
	Centers Active in Back-To-Back Couples (Center ...)	"0" (Normal Couples)	この使い方は、よく起こらない、ダンサーをセンターにとどめる手助けとなる用語が必要となる。 (例：Heads Pass Thru and in the center Heads Chase Right)
Coordinate	Right-Hand Columns	"0" (#1 & #3 dancers are girls and #2 & #4 dancers are boys)	左記と異なるアレンジメントでは、かなり壊れることが予期される。
Crossfire	Right-Hand Parallel Two-Faced Lines	"0" (Normal Couples)	これが、最もよくある使い方である。下記の2つも、よく成功する使い方である、しかし、これらの隊形、アレンジメント以外から使えば壊れる重大な原因となる。
	Right-Hand Tidal Two-Faced Line	Normal Couples	Each Four Crossfire と言うことが、きれいにウェイブで終ることを助けてくれる。
	Center Right-Hand Two-Faced Line (Center ...)	Normal Couples in the Two-Faced Line	コーラーが誰が動くかを、はっきりコールさせていれば、成功する。
Cut the Diamond	Right-Hand Diamonds (All four Diamond centers in one wave)	"1/2" (Boys as centers, Girls as points)	"0"(男性がポイント)のアレンジメントで、いくつかの手助けとなる言葉と共に使えば、成功するだろう。他のアレンジメントでは、カットよりも、フリップの方が成功しやすい。 (ダイヤモンド サーキュレイトのコメント参照)
Diamond Circulate	Right-Hand Diamonds or Left-Hand Diamonds (All four Diamond centers in one wave)	All Arrangements	"0" または"1/2" (センターが同性)がよく使われる。他のアレンジメントでも、たいてい成功する。
	Center Four Dancers in a Diamond (Center Diamond ...)		ポイント ツー ポイント ダイヤモンドでは、特に、カットやフリップをコールする時、手助けの用語が必要である。フェイスングダイヤモンドは、スタンダードではない。
Dixie Grand	Double Pass Thru	"0" (Normal Couples)	他の隊形や、アレンジメントからでも、合図の言葉、ライト、レフト、ライト、は成功を増加させる。
	Single File Promenade with BBGG and Boy's U Turn Back	Arrangement as indicated at left	
	Trade By	"0" (Normal Couples)	これらは、あまり良くは出てこない、Everyone begin with the right , Dixie Grand. という、きっかけの言葉が必要だからであろう。
	Eight Chain Thru		

CALL	FORMATION(S)	ARRANGEMENT(S)	COMMENTS
Explode the Wave	Right-Hand Parallel Waves	"0" (Girls as centers and Boys as ebds)	アレンジメントが、"1"、"2"のライトハンド ウェーブからは、きっかけとなる、boys with boys and girls with girls の補助用語が、コールの前に与えられると、より成功をもたらす。
	Left-Hand Parallel Waves	Girls as ends and Boys as centers	成功する、なぜならば、回転する時の方向と、終る時の動きが"0"のライトハンド ウェーブからと同じだからである。
	Tidal Wave	Right : BGGBBGGB Left : GBBGGBBG	Each 4 ということが成功の手助けになる、そして、最も良いのは Left Allemande の直前に使うことである
	Center Right-Hand Wave (Center...)	Same Arrangements in wave as above	コールは、センターズにかけられる。成功するには、コーラーが、誰が動くかハッキリ言うことである。

Explode and (Anything)	Right-Hand Parallel Waves	"0" (Girls as centers and Boys as ebds)	成功は、Anything のコールに大いに依存するだろう。言葉を強調することが、成功の手助けになる。
	Left-Hand Parallel Waves	Girls as ends and Boys as centers	成功は、最も良いAnything コールとして、ライトハンドフル パイ (例 : Right and Left Thru , Square Thru) で始まるもの、または、右手を使う (例 : Touch 1/4 , Box the Gnat) ものがあげられる。
	Tidal Wave	Right : BGGBBGGB Left : GBBGGBBG	Each 4 ということが成功に含まれるだろう。Explode and Swing が、シンキング(Singers)での良い例である。
	Center Four dancers in a Right-Hand Wave (Center...)	BGGB wave	コーラーが、誰が動くか、ハッキリ意識していると成功する。(例 : Center Wave Explode and...)

Extend	Right-Hand 1/4	All Arrangements	最も良く使われるのは、メインストリームの使われ方の"0" (Heads Pass the Ocean) である。
	Right-Hand Parallel Waves	All Arrangements	一般的になりつつある。きっかけの言葉として、outsiders stay facing out (外の人、外を向いたまま) と言うことが、ダンサーの成功を助ける。

Fan the Top	Right-Hand Parallel Waves	"0" (Girls as centers and Boys as ebds)	これは、まれに"安全"なコールである、なぜならば、センターが左手から動き始めなければならない動きで (ライトハンドウェーブからコールされた場合)、それは、多くのコールにおける、右手から始める、という自然な傾向を阻むものだからである。最も良い成功するコールは、全員が右手を使ったコールの後に連続して使うことである。例 : Single Hinge , (Girls connect) Fan the Top.
	Center Four dancers in a Right-Hand Wave (Center...)	BGGB wave in the Center	
	Right-Hand Tidal Waves (Each Four...)	BGGB in each four	

Flip the Diamond	Right-Hand Diamonds (All four Diamond centers in one wave)	"1/2" (Boys as centers, Girls as points)	"0" (ボーイズがポイント) の場合は、手助けの言葉を言えば成功するだろう。(ダイヤモンド サークュレイトのコメント参照)
------------------	--	--	--

Follow Your Neighbor	Right-Hand Parallel Waves	"1" (Boys facing in and Girls facing out)	And Spread がしばしば続く、do not Spread を加えるべきである。(訳者注 : 日本の場合は、don't Spread とコールしても、Spread だけを聞いて、Spread してしまう可能性が高いので、Spread を行わない場合は、何も言わない方が良いと考える。)
	Center Four dancers in a Right-Hand Box Circulate	Boys facing in and Girls facing out	これは、良く使われない、ボックスをハッキリと指示しなければならぬ。

Grand Swing Thru	Right-Hand Tidal Wave	All Arrangement	最も良く使われるのは、BGGBBGGB、または GBBGGBBG のタイダルウェーブからである。
	Left-Hand Tidal Wave	All Arrangement	Grand Left Swing Thru は、全てのアレンジメントでだいたい成功するであろう、しかし、GBBGGBBG または、BGGBBGGB から、最も良く使われる。

Linear Cycle	Right-Hand Parallel Waves	"0" (Girls as centers and Boys as ends)	違うアレンジメントは、ワークショップを行わないと、安全ではない。
	Center Four dancers in a Right-Hand Wave (Center...)	BGGB center wave	コーラーが、誰が動くか、ハッキリ言えば、成功する。アレンジメントが、"0"のクォータータッグから行い、ホームに戻るのが、良い結果のコールである。
	Right-Hand Tidal Wave	BGGBBGGB	Each Four Linear Cycle と言うことが、成功に含まれる、しかしながら、これは一般的ではなく、ダンサーは、Recycle の終わりと同じように止まりがちである。
	Left-Hand Parallel Waves	Boys as centers and Girls as ends	これはスタンダードではない、手がかりの言葉を必要とするからである、しかし、終わりの隊形が、ノーマルラインになる左記アレンジメントであれば、ワークショップをすれば、まあまあやさしいエクステンダアプリケーションである。

Load the Boat	Facing Lines	"0" (Nomal Couples)	エンズ ロードサポート は、どんなアレンジメントからでも、だいたい成功する。センター オンリー ロードサポートは、ハーフサッシェイカップルがセンターにいる場合のみ、だいたい成功する。("0" (BGGB) または、"2" (GGBB) のライン)
---------------	--------------	---------------------	---

CALL	FORMATION(S)	ARRANGEMENT(S)	COMMENTS
Peel Off	Completed Double Pass Thru	"0" (Normal Couples)	いくつかの地域では、ヒールオフは、バリエーションがなく“安全”なコールである。 これが、最も一般的な使われ方である。
		"4" (Half-Sashayed Couple followed by a Normal Couple)	アレンジメント“4”は、終わりの隊形が、ノーマルラインとなるので、ダンサーは間違えても、簡単に修正できる。
Peel the Top	Right-Hand "Z" formed from Parallel Right Waves, Tidal Wave or Center Wave	"Z" formed from "1/2" Right-Hand Wave plus(加える) the call Ends (Girls) Fold	コールは、もっぱら、この隊形とアレンジメントからかけられる。タイダルウェイブからは、Each Four と、センターウェイブには、Centers とコールする。
Ping Pong Circulate	Right-Hand 1/4 Tag	"0" (Right-Hand Wave with Girls as Centers and Boys as ends between Normal Couples)	しばしば、2回(twice)とコールされる。“0”は最も一般的である。“1”“2”(男性、または女性がセンターウェイブ)は、終る隊形で、彼らがアウトサイズになると指示すれば、壊れる重要な原因とはならない。 (訳者注：センターが男性の場合、その男性が、終った時にアウトサイズに行くとは指示すれば、壊れない。)
Relay the Deucey	Right-Hand Parallel Waves	"0" (Girls as centers and Boys as ebds)	コールは、ほとんど、このアレンジメントからかけられる。
Single Circle to a Wave	Eight Chain Thru	All Arrangement	最も一般的なものは、“0” (Normal Couples)からである。
	Double Pass Thru (Center...)	All Arrangement	コーラーが、誰がアクティブか、ハッキリしていれば、成功する、しかしながら、それに続く多くのコレオグラフィーは、スタンダードではない場合が多い。
	Center Four dancers in Facing Couples	All Arrangement	
Spin Chain and Exchange the Gears	Right-Hand Parallel Waves	"0" (Girls as centers and Boys as ends)	コールは、ほとんどもっぱら、このアレンジメントからかけられる。
Spin Chain and the Gears	Right-Hand Parallel Waves	"0" (Girls as centers and Boys as ends)	コールは、ほとんど、このアレンジメントからかけられる。
Teacup Chain	Static Square	Normal Couples	ハップレディー センターフォー ア ティーカップ チェイン が最も良く使われる。 パートナーとレフトアームターン、またはカートシーターンを行うことが、重要で成功を高める。 サイズレディー センターフォー ア ティーカップ チェイン を加えることも必要であろう。
3/4 Tag the Line	Right-Hand Parallel Two-Faced Lines	"0" or 1/2 (Both Normal or both Half-Sashayed Couples)	終った時に、BoyS (Girls) end in waveと言うのが適している。ダンサーの成功を保証する助けになるであろう。
	Lines Facing Out	Same sex in the center (BBBG or BGGG)	(上記コメントが、この項目でも助けとなる。)
Track Two	Completed Double Pass Thru	"0" (Normal Couples)	コールは、ほとんど、このアレンジメントからかけられる。
		"3" (Normal Couple Leading, With Half-Sashayed Couple following)	トレーラーが、リーダーをフォローするまま(後ろについて)であれば、成功するであろう。
Trade the Wave	Left-Hand Parallel Waves	Girls as ends and Boys as centers	最も良くコールされるのは、レフトハンドウェイブを、ライトハンドウェイブに変える時である。 多くのダンサーは、最初に、テイク ア ピークを、聞くものだと思っている。
	Center Four dancers in a Left-Hand Wave (Centers ...)	Girls as ends and Boys as centers	コーラーが誰か動くかを、はっきり意識していれば、成功する。